

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月18日

計画の名称	鶴岡市における循環のみちの実現計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	鶴岡市												
計画の目標	下水道法事業計画の見直し及び下水道整備を促進することにより、安全・安心、衛生的で快適な市民生活環境を実現し、公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,341	A	3,275	B	0	C	66	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.97	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道法事業計画における今後5年間で計画緒元等の基本的な見直しすべき事業計画の策定率を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。 下水道法事業計画における基本的な見直しすべき事業計画の策定率 事業計画策定済みの処理区・排水区(区数)/5年間の事業計画策定すべき処理区・排水区(区数)	0%	20%	100%
2	下水道処理人口に係る普及率を78%(R2)から82%(R6)に増加させる。 下水道処理人口に係る普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	78%	80%	82%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	-	-	基本的な計画の見直し	調査検討計画等	鶴岡市						100	-	
	A07-002	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠(汚水)	新設	汚水幹線枝線整備(鶴岡処理区)(未普及解消)	75~250mm L=29.1km	鶴岡市						2,795	1.10	-
	A07-003	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	管渠(汚水)	新設	汚水幹線枝線整備(湯野浜処理区)(未普及解消)	75-200mm L=3.1km	鶴岡市						250		-
	A07-004	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	-	-	下水道広域化・共同化の推進	調査検討計画、統合管渠整備一式	鶴岡市						130		-
											小計						3,275		
											合計						3,275		

C 効果促進事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	鶴岡市	直接	鶴岡市	-	-	下水道資源・エネルギーの有効利活用(効果促進)	下水道資源・エネルギーの農業・水産業利用に関する調査検討	鶴岡市						66		-
未普及解消(A07-003~A07-004)により増加する下水道資源・エネルギーの調査検討を行い、循環型社会の構築に貢献しより一層推進する。																			
											小計						66		
											合計						66		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	10	5			
計画別流用増 減額 (b)	2	0			
交付額 (c=a+b)	8	5			
前年度からの繰越額 (d)	0	4			
支払済額 (e)	4	9			
翌年度繰越額 (f)	4	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 整備計画変更理由書

鶴岡市

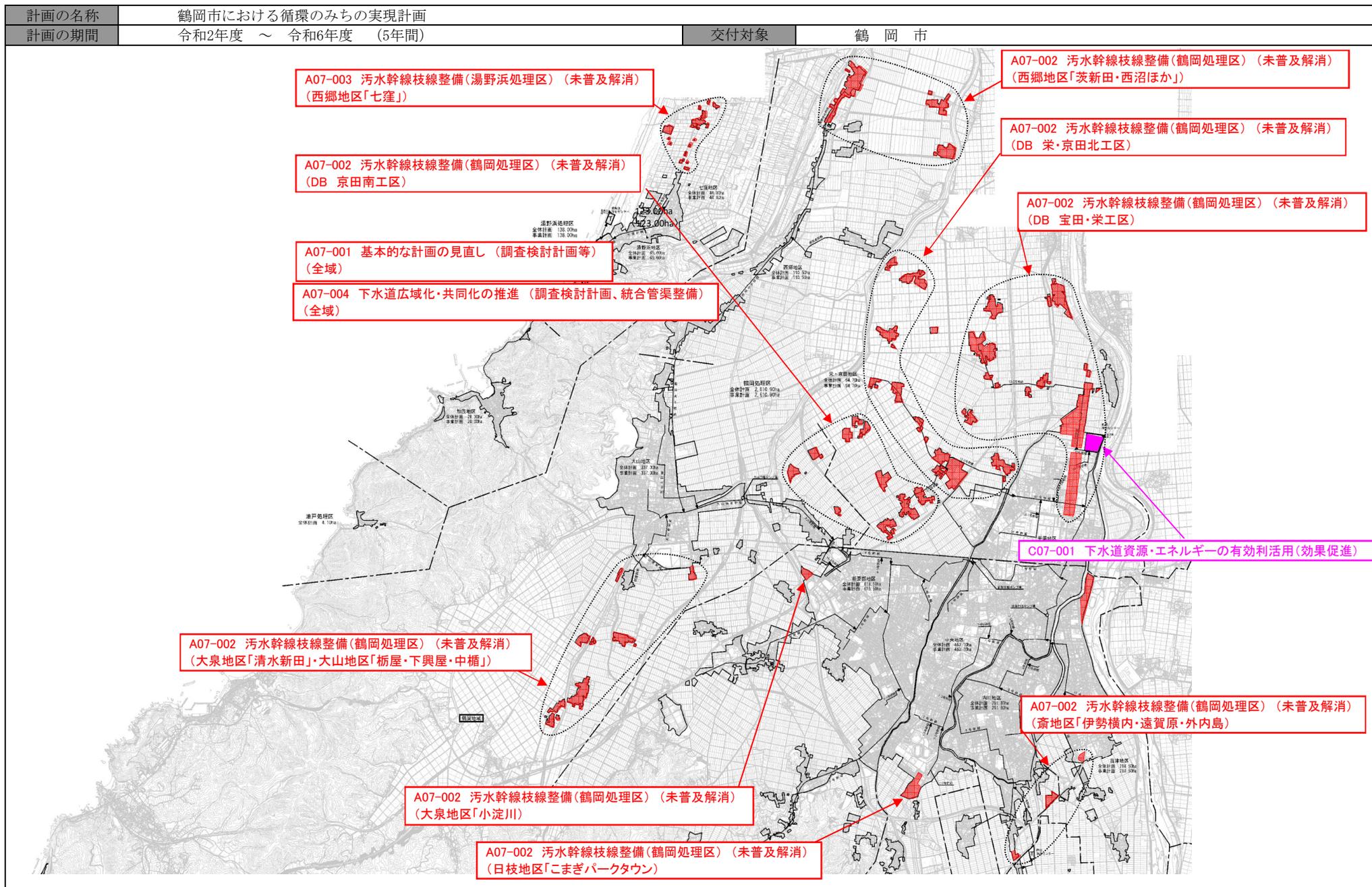
○変更理由

①対象事業の費用便益比を記載するため。 ②事業内容と(参考図面)の不一致を是正するため。
---

○変更内容

要素事業番号	要素事業名	要素事業の新設・削除・変更	変更内容・事業内容(具体的に記載してください)
A07-002	汚水幹線枝線整備 (鶴岡処理区)(未普及解消)	変更	費用便益比を記載した。
その他変更箇所			
変更項目		変更内容	
交付金の執行状況		令和3年度の交付金の執行状況を記載した。	
(参考図面)社会資本整備総合交付金		本整備計画(通常)へ移行する前の前整備計画(重点計画)にて完了している箇所を、本整備計画の参考図面上から削除した。	

(参考図面) 社会資本整備総合交付金



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 鶴岡市における循環のみちの実現計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の具体性など事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業の実施について、住民等間で合意形成が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○